

～～第8685回～～

芦生の森

～R1. 5. 18-19～

京都美山の京都大学芦生研究林を訪ねる。平成28年に国定公園に指定され、入山制限の山域はガイドが同行しないと入れない。1日目、北陸道一舞鶴若狭道を経て、小浜ICから国道162号を南下する。三方五湖PAでは三方湖を眺望する。堀越峠を越え京都府へ入ると道路沿いに茅葺き屋根の民家が点在する。道の駅美山ふれあい広場で昼食をとる。ツーリングのバイクが多い。美山かやぶきの里は茅葺き民家がまとまって保存されている。中心部を散策して芦生研究林へ向かう。駐車場で協力金(500円)をポストに入れ、ガイドなしでも入林(入林申請書を提出)できるトロッコ道コースに入る。事務所構内を抜け、吊り橋を渡ると錆びたレールが敷かれている。由良川本流沿いに延びる森林軌道跡だ。新緑に覆われ、清流を眺めながらの静かなハイキング。小さな草花はあるものの、目立つ花はあまりない。フタゴ谷まで行く予定だったが、赤崎の軌道崩落地点で引き返す。駐車場の裏に今夜の宿「芦生山の家」がある。昔の小学校跡に建てられ、横に古い校舎が残っている。

2日目、ガイド付きで下谷-上谷-杉尾峠コースに入る。マイクロバスで事務所横のゲートから林道を上ってゆく。ケヤキ峠を越え、下谷の栃ノ木平で一旦下車。辺りを散策し、大トチノキなどを見る。この辺りはバイケイソウのみでコバイケイソウはないとのこと。時間の関係で大カツラは車窓から見るだけ。長治谷小屋で下車し、上谷から杉尾峠へ向かう。アオダモやウワミズザクラが満開で白い花が綺麗だ。今年は例年になくウワミズザクラの花が多いそうで、良い香りが漂っている。サルナシ・ツルアジサイ・イワガラミの見分け方やトチノキとハウノキの葉の違いなど教わりながら歩く。流れの緩やかな水辺にイモリがウヨウヨいる。榊上谷で山の家特製弁当をいただく。雪の重みで地面に着いた枝から子孫を増やすアシウスギや珍しいアシウテンナンショウなどがある。鹿の食害で以前に比べ植物は減少しているようだ。由良川の最源流を遡ると杉尾峠(765m)へ出る。さらに見晴らし場まで少し登るが、日本海は霞んで見えない。林道に下ってバスに乗る。斜面にミヤマヨメナが薄紫の花を咲かせている。宿の人と揺れるタニウツギに見送られ出発する。途中、道の駅で日吉ダムカレーを食し、京都縦貫道園部ICから高速に乗る。

参加者：9名（静岡北1、藤枝8）

天気：①曇り ②晴れ時々曇り

地図：中・古屋・久坂

コースタイム：藤枝500＝かやぶきの里1130-1200＝芦生研究林事務所1230…トロッコ道(赤崎)1400…事務所1530＝芦生山の家(泊)1535-750＝トチノキ平820-900＝長治谷930…上谷1100…杉尾峠1243…林道1305＝山の家1350-1415＝藤枝2100

記録：藤枝支部 ゆ記



京都大学芦生研究林事務所



トチノキ平の大トチ



ウワミズザクラ



アシウテンナンショウ



ミヤマヨメナ



タニウツギ